

BSPACK 使用の手引 (version 0.0)

石岡 圭一 (95/10/13)

1 概要

これは他のサブルーチンパッケージで使用される基礎的なサブルーチンを集めたパッケージである。

2 サブルーチンのリスト

BSDMSG メッセージの出力
BSSET0 配列に 0 を代入
BSCOPY 配列の複写

3 サブルーチンの説明

3.1 BSDMSG

1. 機能

メッセージの出力

2. 定義

3. 呼び出し方法

BSDMSG (CL, CS, CM)

4. パラメーターの説明

CL (C*1) 入力. メッセージの種類指定 (備考を参照)

CS (C*(*)) 入力. サブルーチン名

CM (C*(*)) 入力. メッセージの内容を参照)

5. 備考

(a) CL が 'E' ならエラーが生じたと見なして処理を終了, 'W' ならワーニングを出力して処理を続行, 'M' なら単にメッセージを出力する.

3.2 BSSET0

1. 機能

配列に 0 を代入

2. 定義

3. 呼び出し方法

BSSET0(N,A)

4. パラメーターの説明

N (I) 入力. 配列 A の大きさ

A (D(N)) 出力. すべての要素に 0 が代入される

5. 備考

3.3 BSCOPY

1. 機能

配列の複写

2. 定義

3. 呼び出し方法

BSCOPY(N,A,B)

4. パラメーターの説明

N (I) 入力. 配列 A, B の大きさ

A (D(N)) 入力

B (D(N)) 出力. 配列 A の内容がそのまま複写される.

5. 備考